

---

# 浅羽 夢双

チエバレン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

浅羽 夢双

### 【NZコード】

N7824L

### 【作者名】

チエバレン

### 【あらすじ】

通常版男子高校生 九十九伊万里 は朝起きると、

女子になっていた！？

しかもその顔は 浅羽 裕太

の読んでいたラノベの表紙そっくりで

！？

その日見た夢を現実にできる能力を持つ浅羽と、

無敵女子高校生（！？）伊万里の

ありえなさそうでありえるどたばた青春ラブコメディー！

## 浅羽 夢想 001（前書き）

みなさまにちはチエバレンと申します。  
この小説をお読みになつていただき、誠にありがとうございます。  
はじめて、いわゆる処女作ですので読みづらい点が多くあります、  
かなりお暇なときなどにお気軽に――・）チラッしてね！

浅羽裕太は語らない、

ただ静かにそこにいる。

クラスでも浮いた、物静かなやつと云うポジションを取えられている。

彼は当然体育にも参加しないし、運動会やイベント関係にも関わらない。

体が弱いとかで、あまり活動的などこなは見たことがない、

髪は地毛の茶色、おもしろいほど、なで肩で、身長181センチ、

凛としたそのクールな顔立ちは、一部の女子から人気があるらしい。

浅羽はいつも教室の片隅で本を読んでいる、

羅生門からハルヒまで、正岡子規から支倉凍砂まで、

すべてを受け止め、読みつくさんとばかりの乱読家である。

電撃が多いのは氣のせいと云ふと云ふが、

成績は相当なものらしい、よく前が田の田に当たつている、

本当にライバルで勉強しているのかと疑われる見えないほどだが、

友達は居ない、

一人もだ。

凍り付くような雰囲気、近づいたら霧散してしまって、

誰も近づかない、

誰も近づけない、

もつとも必要としていないかのよう。

浅羽の詳細を、なぜこんなに知っているかって？

なぜこんなに考察しているかって？

加熱で冷徹で鋼鉄な春休みが終わり、

ほんわり世の中に漫つていた今日この頃、

僕は、私は、浅羽を見ていた、

何気なく、LOOKではなくSEE、

毎日恒例浅羽ラノベチェックだ。

どうしてだらづ、なぜ氣づいてしまったのだろう、

今思つとな、ぜ彼を見ていたのだろう。

私は氣づいた、

浅羽裕太のライトノベルの表紙の女の子が、

私そつくりだった。



月曜日

人類の生み出した暦の中でもっとも愚の骨頂ゲージが高い日、どうして日曜を七個作らなかつたのか不思議でたまらない。

毎週のお楽しみ、”婆婆ネット@”を見て昨日は熟睡してしまった。

（婆婆ネット@は人生経験やリアルに恵まれないかわいそなお友達から、

お便りでイラストを投稿し、実際につづくてしまえ！が売りのB級テレビ番組である）

しかし、よく考えつくよなあの痛いアイディア・・・・

ジリリリリリリリリリリリリリリリリリリ

カチッ

な  
い

ない

ないないないないない

俺の・・・ワルサーHY  
4545(ひわいしこしこ)が・・・  
ない。

戦闘力を誇る、毎朝なげなしの血液を吸い、スーパー Saiyajin 4 のゴジータ ほどの

我が最強の愚息がない。

すぐさま鏡の前へ、まだ真新しい姿見に映つたその姿は、

女の子

おんなのこ

貧相な胸板があつたはずの場所には、人生の目標もとい、

ふつくらとした豊満な乳房があつた。

みんなしつてるかい？

これおつぱにいつていうんだぜ、知らなかつたやつは今度から気をつ  
けろよ

全くこれだから近頃の若いやつはまどりつてこわれるんだよ。

ゆとりにだつて、知つているやつはまどりつてこますよ、

しかし、たつた一人の無知のせいで、ゆとり全体の評価が下がるのは

大変遺憾なことがあります。

ロリコンだつてきもいロリコンだけじゃないんだよー。

清廉潔白なロリコンだつているよー。

・・・と余計な話はいいまで、

姿見に映つた僕は、髪はセミロング、色は栗色で、

身長も178はあつたはずなのに、160センチ前後となつっていた。

そしてトランクス一丁は、かわいい熊のパジャマへとメイクアップされていた。

そして極めつけは、 “美少女” だった。

その大きくぱっちりとした瞳、鼻は高いとはいえたが、

なぜか愛執をわかせてしまう形をしており、

口はきれいなピンク色で少々遠慮がちにそこにあった。

高橋留美子先生の作品に出てぐる中国の怪しい温泉にはおちてないのだがな！？？

こつして僕 “九十九 伊万里” から

私 ”つくも いまり” になりました。

といつとども思つたか！――！

そんな簡単に納得できるでござりじゃねえ！？

・・・・ そうか夢か。

ツツハツ、ハハツ。

そうだ、たぶん、現実での欲求不満解決を、あきらめ

夢で果たしてしまおうという、私の大脑側の陰謀だな。

全く困ったやつだ。しょうがないから朝起きたら、本屋へ行って

いかがわしい本でも買ってこよう。

しかしその前に・・・・・

私は九十九伊万里である前に、OTOOKONOKOなのだ。

目の前に何の法にも触れない、禁断の果実があつたならばどうだらうか。

といふか私のものだから、

と血口分析すると、

ゆつくりとパジャマの一一番上のボタンをはずす

「あと2秒で降りてこないと、ヒューズ中佐よりひどい死に方をすることになるわよ?」

母だった。

危うく人間としての大事なものを失うところだつた。

そして、”私”は階段をかけ下りた。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7824/>

---

浅羽 夢双

2010年10月9日02時23分発行